

○令和元年度地方創生推進交付金事業（みらいの「みたけ人」育成推進事業）実施結果一覧

	交付金充当事業名 ※下段：総合戦略における位置づけ	交付金充当事業の概要	契約内容等	実施結果（見込み含む）	担当課
1	みたけ創生みらいの人材育成協議会等運営事業	・「地元で働く」「地元を盛り上げる」をテーマに、地域の関係者が連携してみたけ創生のための様々な取り組みを行っていき「みたけ創生みらいの人材育成協議会」を平成28年度に設置し、様々な取り組みを実施した。取り組んできた内容や課題を、協議会メンバーにて情報共有し、一層の連携を充実させ、取り組みを進化させる。	●みたけ創生みらいの人材育成協議会 委員数 11名 任期 平成30年6月1日～令和2年5月31日	【第1回】6月18日（火） 各事業の計画について意見交換等を行った。各事業が連携し、相乗効果を発揮しながら事業を進めていくことで一致した。 【第2回】12月16日（月） 各事業の進捗報告を行うとともに、令和2年度以降の事業計画について案を示し、意見交換を行った。 【第3回】3月13日（金） 本年度事業の実施報告、意見交換及び講演（講師：こども古本店中島英昭氏（No.6外部人材招聘事業））を実施した。	企画課
2	地域課題解決型キャリア教育事業 ◀基本目標3▶「しごと・経済が元気」 ○施策1：産業・創業の振興と雇用の創出	・高校生などの若者を対象に、「担い手」や「雇用」に対する地域課題解決のためのキャリア教育プログラムを実施し、町内企業就業につながっている。地域や地元企業について「学び」「理解」するために取り組みを一層充実させ、商工会、金融協会、工業団地立地事業者等とのワークショップや就業体験教育を通じて「地元で働く」ことを知って・学ぶ機会を創出する。	●地域課題解決型キャリア教育事業業務委託 契約期間 令和元年6月24日～令和2年3月13日 契約相手 NPO法人縁塾	東濃高校でキャリア教育を行うため、6月に委託契約を締結。キャリア教育は1年生を対象に、1月から2月にかけて実施し、2月6日（木）に学内で報告会を行った。8事業所の協力をいただき実施した。 ○東海化成工業株式会社 ○有限会社セレモたなか ○豊精密工業株式会社 ○株式会社ファミリーカーショップ ○株式会社置田鉄工所 ○NPO法人可児市国際交流協会（F R E V I A） ○社会福祉法人慈恵会（さわやかナーシングみたけ） ※新規 ○学校法人荻須学園（御嵩保育園） ※新規 なお、予定していた環境フェアでの発表は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 また、前年度キャリア教育受講者のフォローアップとして、2事業所の協力をいただき7/22（月）に企業見学や意見交換を行い、2年生59名が参加した。実際に採用試験を受けたいという声もあり、働くことについて具体的に考えていく意識の変化という点で一定の効果を得た。 ○大豊工業株式会社 ○東海化成工業株式会社	企画課
3	御嵩あかでんランド開催補助事業 ◀基本目標4▶「モノ・コトが元気」 ○施策2：まちのオリジナリティを活かした観光振興	・平成28年度に題材を「名鉄広見線の魅力を高めるためのイベントの企画・運営」とし、地域課題解決の手法を学んだ。そのことを通じて、実行委員会組織が立ち上がったものの、人材力に欠け、自立するまでには至っていないなか、更なる人材育成と充実を図るため、秋にイベント「御嵩あかでんランド」を行い、企画・運営を学び、取り組みを進展させる。	●御嵩あかでんランド開催補助事業 補助対象期間 令和元年6月10日～令和2年3月20日 補助対象団体 御嵩あかでんランド実行委員会	5月に補助金申請あり。7月～10月に5回のワークショップを開催し、アトラクションの企画等の準備を行った。また、衣装（法被）の資金調達のため、クラウドファンディングにより12万円の支援を受けるなど、自立・自走のための資金確保の第1歩を踏み出した。10月20日（日）に「御嵩あかでんランド」イベントを開催し、419名の参加があった。周辺でのイベントとの重複等の理由により、昨年度から人数は減少しているが、顔戸駅付近でのアトラクション実施場所・内容を変更して実施するなど広見線を周遊してもらう工夫をし、1人あたりの滞在時間が増加するなど、周遊してくれる方は増えたと分析している。 ■補助金額 436,905円（交付決定額 600,000円） ※これまでの入場者実績 ○平成30年度（1日間） 509名の参加 ○平成29年度（1日間） 428名の参加 ○平成28年度（2日間） 375名の参加 2020開催は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、見送る見込み。その他、名鉄旧八百津線軌道敷など今後活用見込みのある箇所の整備等を検討。	企画課

	交付金充当事業名 ※下段：総合戦略における位置づけ	交付金充当事業の概要	契約内容等	実施結果（見込み含む）	担当課
4	みたけのええもん雇用創出事業 «基本目標4»「モノ・コトが元気」 ○施策2：まちのオリジナリティを活かした観光振興	・御嵩町の特産品「みたけのええもん」のPR効果をプロモーションを通じ、生産者は手ごたえを感じた。販売の方法や場所などのノウハウを更に深めるため、効果のあるPRを学び、販路の一層の拡大を進め、地域産業が活発化し、雇用創出につなげる。	●みたけのええもん等販売促進事業業務委託 契約期間 令和元年6月10日～令和2年2月28日 契約相手 一般社団法人 たらす	生産者組織「御嵩町特産品開発普及協議会」が平成30年度に設立され、その事務局を担う一般社団法人たらすへの委託事業として実施した。都市圏（東京・大阪）でのPR販売の他、地元住民や近隣市町における知名度向上を目的にキャラバン活動を展開した。 【全5回の実施】 ○みたけのええもんキャラバンinラスパ御嵩① 令和元年6月20日～23日（4日間） 売上：212,468円 来店者数：400名（前年度売上：183,849円） ○みたけのええもんキャラバンinラスパ御嵩② 令和元年8月15日～18日（4日間） 売上：235,626円 来店者数：600名 ○岐阜ふるさと祭り（箕面市:彩都やまもり） 令和元年10月19日～20日（2日間） 売上：238,883円 来場者数：5,000名（前年度売上：202,161円） ○みたけのええもんキャラバンin東京都庁 令和2年2月5日～11日（物販は5日間） 売上：448,896円 来店者数：1,000名（前年度売上：202,118円、4日間） ○みたけのええもんキャラバンin可茂県事務所 令和2年2月18日 売上：110,378円 来場者数：100名（初開催） 【その他の取り組み、成果】 ・大河ドラマ「麒麟がくる」と連携した商品開発（才蔵どらやき、笹クッキーなど） ・ネット販売を意識したマーケティングの展開（QRコードによる販路拡大） ・みたけのええもん認定品 17商品⇒19商品 ・ふるさと納税返礼品へのラインナップ増（水引き兜、桔梗と笹のクレンジングなど）	まちづくり課
5	みんなのみたけファンディング活用事業 «基本目標3»「しごと・経済が元気」 ○施策1：産業・創業の振興と雇用の創出	・住民のまちづくり活動のため「みんなのみたけクラウドファンディング」を立ち上げ、活動の資金調達ができる仕組みができている。一層の住民によるまちづくり活動を加速させるため、多くの方に向けて「資金調達」実践セミナー等をきめ細かく実施し、それぞれのまちづくりへの思いの実現を目指すとともに、住民活動を一層活性化させる。	●みんなのみたけファンディング活用事業業務委託 契約期間 令和元年6月3日～令和2年3月13日 契約相手 タイムカプセル(株)	クラウドファンディングセミナーを5回開催した。タイムカプセル(株)のほか、特別講師を招き、町内の挑戦中案件、失敗案件なども交え、クラウドファンディングがより身近な存在であると感じていただくようプログラムを構成して実施した。 ○第1回 10月10日（木）…14名参加 講師：（御嵩あかでんランド実行委員会事務局） ○第2回 10月31日（木）…10名参加 特別講師：細野 淳子 様、出口 峻佑 様（ミタクラ） ○第3回 11月21日（木）…9名参加 特別講師：照井 翔登 様（FAAVO/CAMPFIREローカル事業部 キュレーター） ○第4回 12月12日（木）…10名参加 特別講師：今尾 真也 様 （株式会社リトルクリエイティブセンター クリエイティブディレクター） ○第5回 1月31日（木）…13名参加 特別講師：藤沼 正俊 様（株式会社パーフェクトビール 代表取締役） これまで本事業を通じたクラウドファンディング起案件数は5件となっている。	企画課
6	外部人材招聘事業 «基本目標1»「環境のまちで元気」 ○施策1：環境モデル都市を進める人づくり・場づくり	・園児や小学生、又は親子を対象として「読み聞かせ」を行う住民活動はあるものの、その手法や活動内容はまちまちである。幼い子どもや親子への「読み聞かせ」は、話す人や聴く人双方にとって地域とのつながりや地域を知るうえで大切である。そのための人材育成として「読み聞かせ講座」を実施し、「読み聞かせ」の人材充実とそれを聴く子どもや親子の地域参加を育む。	●令和元年度読み聞かせ研修講座等事業業務委託 契約期間 令和元年11月1日～令和2年3月13日 契約相手 こども古本店	こども古本店と11月に契約を締結した。こども古本店の代表の中島氏は、御嵩あかでんランドでの読み聞かせライブの実施や、町内にスタジオのあるFMラジオに出演するなど、自ら町と関わってくれる関係人口としても町との関わりを深めている。 2月2日（日）講演会及び実演ライブ「絵本で家族まるごとHAPPY!楽しい絵本の読み方・選び方」を伏見公民館にて実施。（20名参加） 想定より参加人数が少なく、周知方法を再検討する必要性を感じた。参加者においては、声のトーン、リアクションのつけ方、ページのめくり方などで子どもをどう引きつけるかなど、子どもたちとの読み聞かせの時間を有意義なものにしたいなどといった感想が見られ、家庭内の人材育成が進んだと思われる。	企画課

	交付金充当事業名 ※下段：総合戦略における位置づけ	交付金充当事業の概要	契約内容等	実施結果（見込み含む）	担当課
7	ITプログラミング人材育成事業 «基本目標2»「ひとが元気」 ○施策2：子どもの「生きる力」を育む教育の充実	・高校生などの若者を対象に、ITを活用した地元の「仕事情報ナビ」や「企業紹介」、「就業体験」などを情報発信するためのプログラミング講座を実施し、講座を通じて地元での就業や地元で起業するイメージを持ってもらう。また、ワークショップなどを通じ、他地域から就業者など呼び込むサイトの魅力づくりも実施する。	●ITプログラミング人材育成事業業務委託 契約期間 平成29年7月6日～平成30年3月20日 契約相手 タイムカプセル㈱	MITAKEプログラミングスクールを全12回実施し、16名の生徒（東濃実業高校12名、可児高校4名）が参加した。アプリ作成のほか、観光ボランティア団体「偲歴会」の協力を得たフィールドワーク（10/5（土））や地域住民とのアイデア出しワークショップ（1/11（土））を実施し、それをもとにオリジナルアプリの開発を行い、3つのオリジナルアプリ（AIチャットボットを活用したアプリ、すごろくアプリ、まちづくりシミュレーションアプリ）を完成させ、AIチャットボットを除く2つのアプリがアップルの審査を通過し公開されている。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、成果発表及び受講生の企業訪問を中止した。 ※過年度に開発したアプリのうち、「enjoy中山道」は御高駅舎及び御嶽宿わいわい館にQRコードで紹介され観光対応の役割を果たすとともに、検索できる名所を追加し、ブラッシュアップされた。また、「進めあかでん！」が御高あかでんランドにおいて大画面で体験されるなど、開発したアプリの有効活用も進んでいる。	企画課
8	環境教育事業 «基本目標1»「環境のまちで元気」 ○施策1：環境モデル都市を進める人づくり・場づくり	・県内唯一の環境モデル都市の取組みを伝え、将来の環境を担う人材を育成するため、重点的に環境に取り組む先進地へ学生等を派遣して、その取組みを学び、また、他の地域から学生などを招き、お互いの活動や成果の発表する機会を創出することで、まちへの「誇り」となる活動へつなげる。	●町環境都市交流体験プロジェクト事業支援業務委託 契約期間 令和元年7月1日～令和元年8月30日 契約相手 特定非営利活動法人 森の生活	【町環境都市交流体験プロジェクト事業実施結果】 ・H31.4月-R元.5月 参加者募集（町内3中学校へ依頼＝中学2年生対象＝募集定員6名） ・参加者募集終了（募集定員6名のところ10名の応募あり） ・R元.6月 応募参加者選考委員会により6名の参加決定 ・R元.7月 参加者説明会→事前研修会開催（森林の学習と整備体験、町長面会など） ・R元.8月16日-20日 北海道下川町にて同体験プロジェクト実施 ・R元.9月-R2.2月 事後研修会 ※北海道下川町でのプロジェクトは、予定していた行程全て支障なく順調に実施することができた。プロジェクト終了後には、事後研修会を実施し、町環境フェアでプロジェクトの成果発表をする資料づくり（話し合い）を行った。また、今年度は、事後研修による成果確認の手法の1つとして、10/26に町内で企業との森林づくりに参画している企業の活動に参加した。 R2.2.23の環境フェア2020において成果発表を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえ中止となった。成果発表の資料はデータ媒体に記録し町内3中学校に配布した。	環境モデル都市 推進室
9	宿場まち人材育成事業 «基本目標4»「モノ・コトが元気」 ○施策1：「みたけ暮らし」の価値の磨き上げによる住みたい、住み続けたい環境の整備	・中山道御嶽宿や伏見宿があった宿場まちとして、おもてなし団体の活動はあるものの来訪者の大きな吸引力に至っていない。その「原動力」「地域力」を高め、御高の地域資源の魅力発信のため、1つの解決課題として「空き家となっている古民家」について、活用方法を含め来訪者おもてなしの担い手となる人材を発掘し、セミナーやワークショップ、アイデアソン、プレイベント等を開催することで、来てみたくなる「みたけ」を創出する活動を担う人材を育成する。	●御高町空き家利活用推進業務委託 契約期間 令和元年11月1日～令和2年3月25日 契約相手 一般社団法人 てらす	中山道御嶽宿に存在する空き家「柏屋」を活用促進のフィールドとして選定し、空き家の活用を考える人材の育成、発掘を行う。柏屋内覧会（現地見学会）を開催し、多くの事業者や民間団体等とのマッチングを進め、空き家の活用施策や実現可能性調査などのヒアリングを行い地域資源としての多角的な発展を目指す。併せて、実際に活用を考えるプレイヤーの育成、発掘を目指す。 ○実施内容 12月22日 有識者（多治見まちづくり会社）による空き家の活用事例紹介 柏屋現地見学および事業者間による意見交換会（9事業者、18名の参加） 具体的な活用方法に関するヒアリングの実施 2月24日 柏屋の活用方法、実現可能性に向けた意見交換会（7名の参加） 2月24日 観光基本計画推進交流会（16名の参加） 趣のある柏屋を歴史資源としての価値を残しつつ、再生活用に向けた具体的な提案を受けることができた。また実施に活用したいというプレイヤーも発掘することができ、今後の多角的な発展に期待ができるものとなった。また、別途開催した観光基本計画推進交流会では、御嶽宿界隈のにぎわい創出に向け「点ではなくの面での取り組み」の重要性について深く議論された。	まちづくり課